

令和5年度 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表 結果

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	対策等
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%				
	2	職員の配置数は適切であるか	80%	20%		配置上は適切であるが、動く職員に限られている	チームとして機能するための役割分担を明確にしていきます。そのためミーティングや研修、振り返り等の時間を十分に設けたいと思います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	80%	20%		車椅子を想定すると、トイレの広さは適切ではない	賃貸のため改修には限界があるが、今後ニーズがあれば検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	40%	60%		分からない	自己研鑽し、ミーティングや会議、研修等で全スタッフで一層の周知徹底を図ります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%				毎年HPに掲載しています。今後の課題について事業所内で検討会を行い業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%				毎年HPに掲載しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		20%	80%		第三者による外部評価は行っていないが、今後の課題について事業所内で検討会を行い業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	80%			未回答20% 研修時間と支援時間が重なると研修を優先できないできない現状がある	研修の時間やスタッフの人数によって難しい場合には内部研修の機会を多くするなどして対応したいと思います。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			保護者は、自身の子どもに何が課題か理解・判断できていないように感じられる時がある	保護者さんに対しても、きちんと分かりやすく丁寧に説明し理解して貰えるように努めます
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			面談時に配布している	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	60%	40%		長期休みに限らず下校が早い場合、通常時共に、職員間で話し合いながら決めている 毎月の壁面制作では、毎月1日に張り替えることで季節の変化を感じられるようにしている	スタッフ全体で立案できるようチーム力を高めていきます
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%		活動の幅が少ないので今後色々な面から再検討していきたい	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	60%	40%		長期休暇の企画立案の際、時間等細かく設定しているが、平日はそこまで設定していない。 ミーティングで確認する程度 職員でのプランや子供会議を取り入れながら組むことができています	個別支援計画に基づいて、スタッフ全体で支援できるようチーム力を高めていきます
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	80%	20%			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			臨機応変という部分になるが、その日の流れを確認することで役割も確認できている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%			親御さんからの情報の共有、児童に対しての質問や今後注意し支援する内容を話し合っている。	

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	40%	60%		おそらくできている	スタッフ全体でガイドラインの内容を再確認し、支援につなげます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	80%	20%		学校教師と情報交換できる場合には積極的にいき、家族とも同様に情報の共有ができるようコミュニケーションをとっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	60%	20%	20%		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20%	40%	40%	できているが分からない。 就学前の情報は少ない。今後サポートブック等で共通理解できれば良いと思う	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	20%	40%	40%	分からない 卒業以降の情報は入っていない	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	40%	20%	40%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		20%	80%	活動の機会はないが、児童クラブの職員と情報交換は行っている 児童の中には、児童クラブと併用している子もおり、交流はできている	事業所としては、機会は設定していませんが、今後ニーズがあれば検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	40%		60%		毎回事業所から1~2名ずつ参加し、内容についてはその日のミーティングで周知を図っています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			送迎時、その日の出来事など話している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	20%	40%	40%		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%		上層部がやっている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	保護者同士の交流の機会は設けられていない	事業所としては、機会は設定していませんが、今後ニーズがあれば検討します。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	80%	20%		ミーティングに限らず、変化があった際は管理者に報告・相談している 送迎時は、他スタッフが把握しにくい個人の関わりになってしまうため、全職員が適正に対応できるよう徹底していきたい	送迎マニュアルを活用し、対応の統一化を図ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%				
	35	個人情報に十分注意しているか	100%			資料の持ち帰りはしない事、個人情報を口外しないよう注意している	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			100%		事業所としては、機会は設定していませんが、今後ニーズがあれば検討します。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	60%	40%			周知方法等を検討し、今後実施していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	20%	20%	未回答20% 現在該当児童がいないため対応していない おやつを選定等に考慮するよう指導を受けた アレルギーの有無を契約時に聞き取りしている	現在、対象者はいないが、必要に応じて勉強会等実施します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%			